

漢方薬で癒す こころとカラダ

14

食欲不振に六君子湯

(りくくんじとう)

暑かった夏から季節は食欲の秋に移っていきます。しかし、気温が下がつても、体がだるく、食欲も落ちたままということはないでしようか。「食事の時間になつてお腹がすいているのに、食べ始めるとすぐにお腹が張つて食べられなくなる」という症状がある人もいるでしよう。こうした症状に**六君子湯**を使いま

す。漢方薬を構成する成分は、大事な順に君薬▽臣薬▽佐薬▽使薬と呼ばれる四つの役割に分かれます。君薬は一番大切な核心的な働きをする成分です。六君子湯にはこの君薬が6種類も入つてるので、この名前がつ

きました。

一方、食欲を調整するホルモンが3つ広く知られています。食欲を抑えるレプチンと、反対に食欲を増すオレキシンとグレリンです。このうち、グレリンは日本人によつて発見されました。六君子湯は、このグレリンを増やし、胃の運動や拡張能を上げることが証明されています。また、消化機能だけでなく沈んでいる気分を持ち上げる作用もあります。

(小児科部長 池野一秀)

六君子湯 りくくんじとう

【効能又は効果】

胃腸の弱いもので、食欲がなく、みぞおちがつかえ、疲れやすく、貧血性で手足が冷えやすいものの次の諸症:胃炎、胃アトニー、胃下垂、消化不良、食欲不振、胃痛、嘔吐

*必ず医師の指示のもと服用してください。

池野医師の書籍紹介

Dr.イケノの 思春期お悩み相談室

漢方薬で癒すこころとカラダ

著: 池野一秀
価格: 3,278円(税込)
B6判・180頁
発行: 新興医学出版社



当院1階売店
「ハーモニー」
にて好評発売中!

